



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月9日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・名
 コード番号 4118 URL <https://www.kaneka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR・広報部長 (氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	330,267	23.8	23,015	227.2	20,891	420.0	14,766	496.2
2021年3月期第2四半期	266,714	△11.1	7,034	△45.1	4,017	△58.5	2,476	△59.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 18,972百万円(188.4%) 2021年3月期第2四半期 6,577百万円(216.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	226.35	225.75
2021年3月期第2四半期	37.97	37.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	686,534	396,723	54.2
2021年3月期	667,429	381,040	53.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 372,362百万円 2021年3月期 357,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2022年3月期	—	50.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	14.3	42,000	52.5	36,500	65.4	24,000	51.6	367.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	68,000,000株	2021年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,760,769株	2021年3月期	2,762,766株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	65,239,185株	2021年3月期2Q	65,230,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2021年11月9日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

➤ 世界経済の状況

当第2四半期累計期間(2021年4月～9月、以下2Q累計)の世界経済は、新型コロナ感染の再拡大により不透明な局面が続いたなかで、経済活動は着実に活発化し、各国の経済政策・金融緩和の下支えもあり回復基調となりました。しかしながら、半導体部品や資材不足による、自動車、住宅などの供給遅れ、ロジスティクスの混乱や原材料・エネルギー価格の高騰など不透明な事業環境が続いています。

➤ 当社グループの業績

このような状況のなか、当社グループの2Q累計の連結業績は、売上高330,267百万円(前年同期比23.8%増)、営業利益23,015百万円(前年同期比227.2%増)、経常利益20,891百万円(前年同期比420.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14,766百万円(前年同期比496.2%増)となりました。

2022年3月期 第2四半期 連結業績 (単位:百万円)

	2021年3月期 2Q累計	2022年3月期 2Q累計	前年同期比
売上高	266,714	330,267	63,552 (23.8%)
営業利益	7,034	23,015	15,981 (227.2%)
経常利益	4,017	20,891	16,873 (420.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,476	14,766	12,289 (496.2%)

セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高							営業利益							
	2021年3月期			2022年3月期				前年同期比	2021年3月期			2022年3月期			前年同期比
	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	1Q		2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計		
Material SU	48,894	55,587	104,482	69,967	70,922	140,889	36,407 (34.8%)	2,855	4,518	7,374	9,311	8,652	17,964	10,589 (143.6%)	
Quality of Life SU	29,738	33,924	63,663	40,856	41,878	82,735	19,071 (30.0%)	1,236	2,692	3,929	4,586	4,737	9,324	5,394 (137.3%)	
Health Care SU	11,698	12,756	24,454	13,220	13,397	26,617	2,163 (8.8%)	2,298	2,672	4,970	2,310	2,941	5,252	281 (5.7%)	
Nutrition SU	35,938	37,560	73,498	39,753	39,725	79,479	5,980 (8.1%)	827	605	1,432	1,429	656	2,085	653 (45.6%)	
その他	373	241	615	308	236	545	△70 (△11.4%)	248	92	341	177	73	251	△90 (△26.4%)	
調整額	-	-	-	-	-	-	-	△5,436	△5,576	△11,013	△5,967	△5,894	△11,861	△848 (-)	
計	126,644	140,069	266,714	164,106	166,160	330,267	63,552 (23.8%)	2,029	5,005	7,034	11,848	11,167	23,015	15,981 (227.2%)	

2Q(7～9月)は、売上高が過去最高を更新し、営業利益は100億円を超える高水準で推移しています。また2Q累計では、すべての事業セグメントで増収増益となりました。

先端事業群においては、新型コロナウイルスの感染が再拡大するなか、Health Care SUはバイオロジクスの能力増強設備の生産スタートやPCR検査キット・検査試薬の販売拡大、血液浄化新製品の上市が寄与し、事業業績は着実に進捗しました。E&Iはリモートワークが拡大するなか、スマホ、PC向けポリイミド製品、大型TV向けアクリルフィルム用樹脂の販売が伸長しました。また、カーボンニュートラルに向けた環境負荷低減への取り組みが急速に進展し、当社のユニークな技術による太陽電池のニーズが高まっています。一方、コア事業では、原材料価格が高騰するなか、グローバル拠点網を活かして海外需要を着実に取り込み、MOD、MS、Fiberなどで収益基盤を強化しました。ポートフォリオの変革は着実に進んでいます。

※ コア事業(Core) … Vinyls and Chlor-Alkali, Performance Polymers, Foam & Residential Techs, Performance Fibers, Foods
先端事業(Leading Edge) … E & I Technology, Pharma, Medical, Supplemental Nutrition, Agris, PV & Energy management

各セグメントの状況は次のとおりです。

① Material Solutions Unit

- Vinylsは、PVCでアジア市場の旺盛な需要が続く、苛性ソーダは海外市況が上昇しました。
- MODは、欧米建築用途の需要好調に加え、非塩ビ用途（自動車、PC・家電向け）が世界的に拡大しています。
- MSは、ニューフロンティアアジアの拡販が加速しています。欧米を含むグローバルな全体需要が順調に拡大を続けています。更なる能力増強を検討してまいります。
- 生分解性ポリマー「Green Planet」は、新しい採用の拡大が続いています。引き合いが活発化するなか環境負荷低減に関心が高い世界中のブランドホルダーとの大型共同開発が進展しています。本格的な生産能力増強に向けて設備計画の詰めを急いでいます。

② Quality of Life Solutions Unit

- Foamのスチレン系発泡樹脂、押出し発泡ボードは、販売は堅調に推移しましたが、原材料高騰の影響を受けました。発泡ポリオレフィン、自動車向け需要回復が遅れています。
- PVは、「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」が8月に政府公表され、再生可能エネルギーの普及促進が活発になるなか太陽光発電の実装拡大に弾みが付いています。当社の高効率太陽電池の戸建て・集合住宅向けの販売拡大が加速しています。
- E&Iは、スマートフォンや有機ELディスプレイ用のポリイミド製品、大型TV向けのアクリルフィルム用樹脂の販売が好調に推移しています。
- Fiberは、アフリカ向け頭髪製品の旺盛な需要が続くとともに、難燃資材向けの販売も堅調に推移しています。

③ Health Care Solutions Unit

- Medicalは、新規投入したASO治療用の血液浄化器の販売が大幅に増加しました。カテーテルは脳動脈瘤塞栓コイルなど、海外向けを中心に販売が拡大しました。新たにコロナウイルス変異株PCR検査キットを販売しました。コロナ感染拡大防止に貢献してまいります。
- Pharmaは、バイオ医薬品では、KEGTの増設ラインでのコロナワクチンの受託製造がスタートし、研究試薬・検査診断サービスが好調に推移しています。低分子医薬品はAPI案件が順調に進展しました。

④ Nutrition Solutions Unit

- Supplementは、「免疫力アップ」意識の高まりを背景に、還元型コエンザイムQ10の販売が好調に推移しました。国内でも「わたしのチカラ」還元型コエンザイムQ10配合シリーズが【一過性のストレスを感じている方の睡眠の質の向上】【一過性のストレスの軽減】【お口の潤い】など新たな機能性表示を取得しました。商品のラインナップを強化しています。
- Foods & Agrisは、需要が回復してきていますが、油脂原料価格の大幅な上昇の影響を受けています。リニューアルした「ベルギーヨーグルト ピュアナチュラル」など高付加価値品を拡販し、収益性の向上に努めています。「別海ウェルネスファーム」牧場では搾乳を開始しました。有機酪農を通じサステナブル社会への貢献や本物志向の乳製品の品揃え強化を加速させます。

(2) 財政状態に関する説明

- 資産、負債及び純資産の状況
 - 2Q末の総資産は、棚卸資産の増加等により前期末に比べて19,105百万円増の686,534百万円となりました。負債は、買掛金の増加等により3,421百万円増の289,811百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加等により15,683百万円増の396,723百万円となりました。
- キャッシュ・フローの状況
 - 2Q累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により20,102百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により16,908百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により3,603百万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当年度上期末残高は、46,368百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- IMFが2021年の世界経済見通しを下方修正しました。景気の不透明感は続いています。
- 先進国の需要が回復しつつある一方で、新興国では、デルタ株の感染拡大、グローバルなサプライチェーンの混乱など不安定な状態が広がっています。また原材料、エネルギー価格の高騰、中国の電力規制問題など、経済のブロック化が進み、先行きを見透すことが増々難しくなっています。3Q以降については、事業環境の不透明感があるものの、当社の強いモメンタムが続くと考えています。
- 従って2021年5月13日公表の連結業績予想を上方修正します。
- 引き続き、事業構造改革に取り組み、収益基盤強化に努めてまいります。

当期の連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	620,000	37,000	32,500	22,000	337.25
今回修正予想 (B)	660,000	42,000	36,500	24,000	367.88
増減額 (B - A)	40,000	5,000	4,000	2,000	
増減率 (%)	6.5	13.5	12.3	9.1	
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	577,426	27,544	22,066	15,831	242.68

セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	243,000	273,000	30,000 (12.3%)	24,000	31,000	7,000 (29.2%)
Quality of Life SU	152,000	168,000	16,000 (10.5%)	15,000	17,000	2,000 (13.3%)
Health Care SU	68,000	61,000	△ 7,000 (△10.3%)	15,000	13,500	△ 1,500 (△10.0%)
Nutrition SU	156,000	157,000	1,000 (0.6%)	6,000	5,500	△ 500 (△8.3%)
その他	1,000	1,000	- (-)	500	500	- (-)
調整額	-	-	-	△ 23,500	△ 25,500	△ 2,000 (-)
計	620,000	660,000	40,000 (6.5%)	37,000	42,000	5,000 (13.5%)

第3四半期以降の為替レート及び原料価格については、米ドルは110円、ユーロは130円、国産ナフサ価格は55,000円/KLを想定しております。

- ※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,716	47,009
受取手形及び売掛金	135,618	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	140,489
有価証券	205	208
商品及び製品	54,161	63,288
仕掛品	9,198	10,213
原材料及び貯蔵品	46,325	50,171
その他	17,221	18,676
貸倒引当金	△1,423	△1,383
流動資産合計	309,024	328,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	91,295	91,839
機械装置及び運搬具（純額）	112,593	112,056
その他（純額）	65,274	63,788
有形固定資産合計	269,164	267,684
無形固定資産		
のれん	2,948	2,675
その他	10,881	11,415
無形固定資産合計	13,829	14,090
投資その他の資産		
投資有価証券	57,917	60,250
その他	17,723	16,059
貸倒引当金	△229	△224
投資その他の資産合計	75,411	76,085
固定資産合計	358,405	357,860
資産合計	667,429	686,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,757	81,759
短期借入金	84,181	80,622
未払法人税等	4,376	2,991
引当金	111	6
その他	47,875	45,815
流動負債合計	212,303	211,195
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,161	28,918
引当金	314	276
退職給付に係る負債	32,073	32,121
その他	6,536	7,299
固定負債合計	74,085	78,615
負債合計	286,389	289,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	31,103	31,519
利益剰余金	289,544	301,048
自己株式	△11,535	△11,526
株主資本合計	342,159	354,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,863	22,629
繰延ヘッジ損益	△9	△22
為替換算調整勘定	△3,753	△2,583
退職給付に係る調整累計額	△2,160	△1,748
その他の包括利益累計額合計	14,939	18,274
新株予約権	516	612
非支配株主持分	23,424	23,749
純資産合計	381,040	396,723
負債純資産合計	667,429	686,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	266,714	330,267
売上原価	192,748	233,586
売上総利益	73,965	96,680
販売費及び一般管理費	66,931	73,664
営業利益	7,034	23,015
営業外収益		
受取配当金	761	777
持分法による投資利益	46	72
その他	427	503
営業外収益合計	1,235	1,353
営業外費用		
支払利息	670	530
固定資産除却損	1,070	593
為替差損	310	56
その他	2,200	2,298
営業外費用合計	4,252	3,478
経常利益	4,017	20,891
特別損失		
訴訟関連費用	136	—
特別損失合計	136	—
税金等調整前四半期純利益	3,881	20,891
法人税、住民税及び事業税	1,781	4,547
法人税等調整額	△821	825
法人税等合計	959	5,373
四半期純利益	2,921	15,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	445	750
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,476	14,766

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,921	15,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,584	1,806
繰延ヘッジ損益	21	△12
為替換算調整勘定	341	1,248
退職給付に係る調整額	702	412
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△0
その他の包括利益合計	3,656	3,454
四半期包括利益	6,577	18,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,936	18,101
非支配株主に係る四半期包括利益	641	870

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,881	20,891
減価償却費	17,787	18,875
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	927	608
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63	△46
受取利息及び受取配当金	△803	△834
支払利息	670	530
持分法による投資損益 (△は益)	△46	△72
固定資産処分損益 (△は益)	346	155
売上債権の増減額 (△は増加)	12,068	△4,604
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,204	△13,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,453	5,810
その他	2,815	△70
小計	29,461	27,532
利息及び配当金の受取額	807	843
利息の支払額	△682	△539
法人税等の支払額	△1,394	△7,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,192	20,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,778	△16,893
有形固定資産の売却による収入	30	—
無形固定資産の取得による支出	△1,606	△1,205
投資有価証券の取得による支出	△39	△40
投資有価証券の売却による収入	16	818
貸付けによる支出	△775	△384
貸付金の回収による収入	916	198
その他	△530	599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,766	△16,908

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,772	△2,007
長期借入れによる収入	645	9,034
長期借入金の返済による支出	△5,620	△6,932
リース債務の返済による支出	△251	△285
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△3,261	△3,261
非支配株主からの払込みによる収入	—	0
非支配株主への配当金の支払額	△152	△88
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△158	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,027	△3,603
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,280	8
現金及び現金同等物の期首残高	37,606	46,360
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,931	46,368

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	104,482	63,663	24,454	73,498	266,099	615	266,714	—	266,714
セグメント間の 内部売上高又は振替高	383	13	—	15	412	537	949	△949	—
計	104,865	63,677	24,454	73,514	266,511	1,153	267,664	△949	266,714
セグメント利益	7,374	3,929	4,970	1,432	17,706	341	18,047	△11,013	7,034

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,706
「その他」の区分の利益	341
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△11,024
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の営業利益	7,034

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	140,889	82,735	26,617	79,479	329,722	545	330,267	—	330,267
セグメント間の 内部売上高又は振替高	407	20	—	23	451	532	983	△983	—
計	141,297	82,755	26,617	79,503	330,173	1,077	331,250	△983	330,267
セグメント利益	17,964	9,324	5,252	2,085	34,626	251	34,877	△11,861	23,015

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	34,626
「その他」の区分の利益	251
セグメント間取引消去	△7
全社費用(注)	△11,899
その他の調整額	45
四半期連結損益計算書の営業利益	23,015

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。